

# 業界の声

情報連絡員

山梨県バス事業協同組合

副理事長 大木俊隆氏



## 現在の景況はいかがですか？

現在、一部大企業で記録的な利益を出している事や、不景気はある程度脱したという報道等でなんとなく景気が良くなっているような気がします。しかし、バス業界に限って言えば県内外、大手、中小すべてで良い声は聞きません。

## 原因は何だと思えますか？

やはり全体的な不況感のおかげで、職員旅行、無尽旅行などが大幅に減っている事だと思えます。職員旅行などについては、景気だけではなく旅行に対する考え方が変わってきていることが原因とも言えますね。今の時代、幹部職員と若手職員と一緒に旅行に行くこと自体が難しくなったのかもしれない。

また、規制緩和の影響で10年前に比べて事業者が3倍程度になったことも見逃せない要因と考えています。もちろん多くの事業者で競争し合うことは大事ですが、多すぎる事業者数は低価格競争を招くだけです。

## 今後の展望は？

先ほどからお話ししているとおり業界は非常に厳しい状況にあり

ます。しかし、需要や価格が下がっています。サービスはむしろ向上しています。今後は、乗務員への積極的な教育研修や、より良い設備の車両の導入等でお客様に喜んでいただけるサービスをより多くすることが大切だと考えています。

また、業界(組合)としても何らかの事業を行い、助け合っていくことも必要だと思えます。

## 趣味は？

ほとんど行くことはありませんが、あえていうならゴルフに行くことですかね。

